

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		・適切である。 ・広い。 ・静かに過ごす場所も確保されている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3			・曜日によってはスタッフが少ないこともある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1	・バリアフリーにはなっていないが、子どもに目を配り、事故につながらない様に努めている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3			・その場にいた職員とは話すことはあっても広く参画していないので改善していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6		・第三者による外部評価は行っていない。今後、検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	1	・コロナの影響もあり外部での研修は少ないが、内部での研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		・定期的にあセスメントを行っている。	・支援計画作成時に合わせてアセスメントできるようにしたい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		・標準化されたアセスメントツールを使用している。	・改善の必要があれば検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		・起案は複数の職員で検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・季節や行事に合わせてたり、工作、運動など様々な事を取り入れるようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		・時間設定での療育を行っている為、休日や長期休暇の対応はしていない。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		・SSTを取り入れたり、個人・集団の活動をしている。		

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		・毎朝のミーティング内で支援の内容や役割分担について確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		・個別であっても情報交換や振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		・毎日の記録を元に支援の検証・改善につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		・定期的なモニタリングの他、必要に応じて見直しをしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	1	4	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	1	・適切な者が参画できている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	2			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	2		・医療的ケアが必要な児童は利用していないが、受け入れる事になれば体制をとっていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4	2		・必要であれば情報の共有、相互理解を図っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	2		・該当児童はいないが今後必要が出た場合は連携を図っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	2	・コロナの影響で研修の機会がなかったが、必要に応じて助言を得ていきたい。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	3		・コロナの状況をみて今後の実施に向けて検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	3	・コロナの影響により回数は少ないが参加するようにしている。	・コロナの状況をみて今後の実施に向けて検討していきたい。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				・連絡ノートや送迎時に直接情報交換を行っている。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	1	・コロナの影響もあり実施には至っていない。	・状況のみて実施を考えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		・丁寧な説明を心掛けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	1	・送迎時の保護者との会話の中で必要であれば助言を行っている。	・定期的な面談等を増やしていけたら良い。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	3	・現在実施できていない。	・コロナの状況のみて今後の実施に向けて検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		相談があった場合は出来るだけ保護者からの意向にそうよう検討し、早く回答するよう心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・毎月のお便り等で周知に努めている。またブログでも紹介している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	6			・十分に注意を払って管理している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・児童の特性を考えて配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4		・コロナの影響もあり、地域との交流は少なかったため、地域にむけた催しを検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	1	・策定している。	・周知が不完全な為、玄関の掲示などを行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		・火災を想定した訓練は実施している。	・火災以外の災害を想定した訓練も実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	3	2		・外部での研修機会がないため、虐待の情報の共有を図っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	2	3		・対象となる児童はいないが、今後必要となることがあればきちんとした対応の元計画に入れていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	1	・利用開始時に保護者からの聞き取りをもとに対応している。	・必要があれば医師からの指示所をもとに対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		・ヒヤリハット報告書はいつでも閲覧できるようになっている。	